

平成 30 年度・前期 公開講座「オペラ鑑賞講座」(第 3 期)

概要：古今の名作から毎回異なるオペラ作品を取り上げ、その聴き方・見方を解説する。欧米文化の集大成である総合芸術オペラを通して、異文化理解の一助とする。

日時：以下の火曜日(全 14 回)、午後 6 時～午後 8 時

場所：北海道教育大学釧路校・第 1 音楽室 (C101)

担当：鴨川太郎 美術・音楽分野 教授

題材一覧(予定)

- 4/10 (火) モンテヴェルディ作曲《ウリッセの帰還》
原作はホメロスの叙事詩『ユリシーズ』。トロイ戦争の英雄とその妻が戦後 20 年を経て再会。
- 4/17 (火) モーツァルト作曲《魔笛》
モーツァルト最晩年の最高傑作。秘密結社フリーメイソンをテーマにした童話風歌芝居。
- 4/24 (火) モーツァルト作曲《皇帝ティートの慈悲》
ポンペイが大噴火で埋まった時のローマ皇帝ティトゥスを巡る典雅なオペラ・セリア。
- 5/8 (火) ドニゼッティ作曲《アンナ・ボレーナ》
ドニゼッティの出世作で、「狂乱もの」「英国 3 部作」の 1 つ。断頭台の露と消えた王妃の物語。
- 5/15 (火) ドニゼッティ作曲《ドン・パスクワーレ》
オペラ・ブッフアの最後にして最高の傑作。金満高齢者を巡るユーモラスな家庭内騒動。
- 5/22 (火) ヴェルディ作曲《リゴレット》
ヴィクトル・ユゴー『王は愉しむ』をオペラ化。中期ヴェルディの 3 大傑作の 1 つ。
- 5/29 (火) ヴェルディ作曲《ドン・カルロス》
16 世紀半ばのスペイン王家にまつわる悲劇。耳に馴染む旋律満載、後期ヴェルディの大傑作。
- 6/5 (火) ヴェルディ作曲《仮面舞踏会》
スウェーデン王グスタフ 3 世暗殺事件が元になった、これまた後期ヴェルディの大傑作。
- 6/12 (火) ヴェルディ作曲《オテッロ(オセロー)》
シェークスピアの原作をオペラ化した、ヴェルディ晩年の 2 大傑作の 1 つ。
- 6/19 (火) チャイコフスキー作曲《エフゲニー・オネーギン》
プーシキンの原作。ロシア貴族の恋と哀愁をチャイコフスキー一流の切ないメロディで綴る。
- 6/26 (火) オッフェンバック作曲《天国と地獄》
フレンチ・カンカンで有名なオペレッタ。『オルフェオとエウリディーチェ』のもじり。
- 7/3 (火) オッフェンバック作曲《美しきエレヌ》
トロイ戦争のパリスとヘレンの物語を天才オペレッタ作家が料理すると…。
- 7/10 (火) プッチーニ作曲《トゥーランドット》
日本のフィギュア・スケートの選手に人気の〈誰も寝てはならぬ〉はプッチーニの絶筆。
- 7/17 (火) R. シュトラウス作曲《アラベラ》
ホフマンスタールと R. シュトラウスのコンビが最後に作り上げた若者たちの華麗なる恋愛劇。

*各回の題材は予告なく変更されることがあります。